

**2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部 法学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 淡江大学 英文系
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 2月 18日 ～ 2020年 1月 9日 出国日 2019年 2月 16日 最終帰国日 2020年 1月 11日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

この留学で私が挑戦したいことはすべて達成することが出来たと思う。例えば語学力向上のために長期休暇を利用して語学学校に通ったこと、台湾の労働を知るためにアルバイトをしたこと、台湾人の友達を作って交流をすることなど毎日有意義な時間を過ごすことが出来たと思う。しかし、後期の授業の履修決めのように思うように教授からサインをもらうことができず、受けたい授業を受けることが出来なかったことがとても残念ではあった。それ以外の学校生活は上手く過ごせたと思う。休日も台湾人の友達と台湾の伝統的な建築物や芸術を見に行くことが出来てとても勉強になった。

留学前の私は自分から積極的にコミュニケーションをとりに行くことはなく友達を頼りにすることが多かった。しかし、台湾の学生やほかの国の学生は私と違って自主性があり活発な性格であった。このような環境に1年過ごしていたせいか私も自然と自らコミュニケーションを相手ととるようになり性格が明るくなり社交的になったような気がする。この1年台湾で生活して台湾についてたくさん知ることが出来たと同時に、1人で生活する大変さや異国で生活する不安さを知ることができて本当によかったと思う。

（2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

私はこの協定留学の前に台湾に何度か行ったことがあり、おおよその台湾の環境や気候は

わかっていたので荷物等の準備はスムーズだった。語学面においても留学前に中国語検定試験を受けていたので留学してからも語学の面で困ったことはあまりなかった。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

中国語の授業の先生はどの方も熱心に教えて頂いた。宿題の添削も分かりやすく丁寧であったし、質問しに行った時も時間をかけて分かるまで教えて頂いた。毎回の授業もとても工夫されていたので、楽しい授業だった。

学部教科の先生は人それぞれであり、少し緩い方もいれば厳しい方もいた。履修するために教授からのサインが必要であるが交換留学生だと少し懸念する態度を取る方もいて思うように授業を履修することが出来なかった。前期は何も問題なかったが後期そのような先生が多かったという印象がある。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

淡江大学のキャンパスは比較的きれいだと思う。新しい建物と古い建物がそれぞれあるが、中は清潔だと思う。キャンパス内にはコンビニや学生食堂があるだけでなく、郵便局やカフェもありとても便利。また勉強できる環境も整っていると思う。図書館はとても大きく本の種類も豊富で、中国語だけでなく英語や日本語など様々な言語で書かれた本もたくさんある。図書館内にも勉強できるスペースが十分にあり、夜遅くまで図書館の下にある自習室も解放されている。

パソコン室も何か所もあり台数も多いので、待たずにスムーズに使うことが出来る。そしてプリンターも無料で使用できる。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

淡江大学では、留学生向けの中国講座がたくさん開講されている。授業扱いされるものもあれば授業外のものもある。授業として受ける中国語の授業は、スピーキングとライティングに分かれていて、どちらも週2で1日100分。留学生であれば授業料は無料。基本教科書に沿って単語や文法を勉強するが、スピーキングの場合、先生から与えられたテーマについて発表することが多い。ライティングは教科書を丁寧に勉強する。レベルは同じでも先生によって授業形式は変わる。学校授業なので中間テスト期末テストはもちろんある。

授業外の講座で私が参加したのは7月から8月の8週間の中から自由に期間を選択できるもの講座。これは淡江大学の職員の方から教えて頂いたコース。1日3時間の週5、有料だが淡江大学の交換留学生だと割引が効き一般生より安く受けられる。ただ、学校名は淡江大学なのだがキャンパスが淡水ではなく、東門なので行くのに時間がかかる。授業前に

ペーパーテスト受け、面接をしてからクラスが指定される。テスト後教室を指定されるが、自分にとって簡単であったり難しかったりした時はクラスを変更すること可能。私のクラスでは授業で教科書を使うが、プレゼンやゲームを交えた授業もした。週に1回は必ず小テストがあった。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生向けのイベントといえば、6 か月ごとに留学生が入れ替わるのでそのたびにウェルカムパーティーとフェアウェルパーティーは毎回必ず行われる。また淡江大学の寮に住んでいる留学生と留学生をサポートしてくれる台湾人学生と一緒に台湾内を1泊2日で旅行するイベントもあった。台湾の特別な日には国際センターでもイベントが行われ会話をしながら台湾のお菓子を食べたりした。外国人と交流する場を設けてくれる日も不定期だったがかった。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

私が知っている中では留学行く前に家庭の事情等で支給される奨学金、留学してから成績優秀者に支給される奨学金がある。私はどちらも利用していないので詳しいことは分からないが、前者は書類に署名さえすればよく、後者は一定の成績基準を満たすことと淡江大学の先生の推薦証が必要。どちらも支給された後、母国語を台湾人や外国人に教えるチャットコーナーの参加は必須。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

殺人事件、窃盗などの刑事事件はなかったが交通事故に巻き込まれる危険は十分にあると思う。台湾はバイクが多く走っており、交通規則が日本のように厳しくないで走るスピードがとても速い。特に信号のない横断歩道を渡るときはとても危険。現地の人でさえ交通事故に巻き込まれることがあると聞いて、その環境に慣れていない私たちは細心の注意を払わないといけないと思う。私が住んでいる寮に1度だけ変質者が現れた。その後、寮の警備が厳しくなり、このようなことは起こらなくなった。日中は安全な方であるが夜になると時々変質者が大学周辺に居るとのことなので気を付けたほうが良い。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 11.000 元/学期 、(日本円) 約 39.600 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (毎日外食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 20 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

寮は学校内にあるので授業に行くのは全然大変ではない。周辺にはコンビニやご飯を食べるところがたくさんあるので、毎日違うものを食べることが出来る。しかしあまり立地が良くないので遠出をしたいときは少しめんどくさいが、学校から駅に行くバスが出ている。夏は部屋の中に蚊やコバエがとても多くて虫に刺される。共同のシャワーやトイレもある。後期から新しく作り替わったのでとてもきれいになった。洗濯機、乾燥機もあるが有料。乾燥機は使ってもあまり乾かないので、外干しのほうが良い。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 64.000 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 210.000 元 、(日本円) 約 756.000 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

台湾はほとんどが現金払いなので、現金を持って行ってよかったと思う。1 年分の生活費を現金で持っていくのは多すぎるし危険であるので、私は少しプリペイドカードに入れいった。プリペイドカードは銀行が休みでもコンビニの ATM で引き出すことが出来るのでとても便利だった。私はこの方法で特に問題はなかった。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

私は JASSO を受給した。この奨学金の受給額は月 6 万円で、毎月 1 回在籍確認をしてから銀行の口座に振り込まれるもの。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日勤

(2) 保険料

196,000 円

(3) 加入した保険の種類、内容

傷害死亡、傷害後遺症、治療救済費用、疾病死亡、賠償責任、携行品損害、航空機寄託手荷物遅延等、航空機遅延費用が含まれている 1 年間プラン

(4) 感想、良かった点・悪かった点

この保険は海外に行くにあたって必要とされている項目が入っている。強いて悪い点をいえば、歯科治療が入っていない点。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

長袖の洋服、薄い羽織物、部屋で掃くサンダル

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

持って行ったものは全部使ったので特にない

(4) 持って行けば良かったと思う物

虫よけスプレー、虫に刺された時に付ける薬、日本でしか売っていないもの、ハンガー(多め)

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

私の平日の過ごし方は、まず午前午後は授業に出る。授業と授業との間が空いているときは宿題や、語学や資格の勉強をしたりしていた。夜の授業が終わったあとは友達と飯食べに行くことが多かった。授業が終わるのが夜 8 時で、学校から駅までは少し距離があるので、ご飯食べ終わって遠くで遊ぶということにはなかったが、私の寮近くに住んでいる友達の家に行って遊んだり、テスト前一緒に勉強したりはした。夜寝るまでは寮にいる台湾人や外国人と雑談して過ごしていた。インターネットで台湾のドラマや映画を見ていた時もあった。

(2) 週末

土曜日、日曜日は基本アルバイトに行っていた。アルバイトがない休日は友達と台北市に行って名物を食べたり、夜市に行ったり観光名所観光することが多かった。長期休暇のときは1泊2日で台湾内を旅行した。なるべく行ったことがないところに行くようにしていた。

8. 後輩へのアドバイス等

現地に着いてからの初めの2週間は分からないことが多くて大変だと思うが、留学生をまとめている方や台湾の学生は親切になんでも教えてくれるので、分からないことはどんどん聞いたほうが良いと思う。1か月も経てば、台湾の生活にも授業にも慣れて始めるので心配しなくても大丈夫。

この1年私は台湾で過ごせてよかった。台湾で勉強できたことがとても貴重なことはもちろん、1人暮らしの大変さも知ることが出来た。留学は語学だけをアップさせる場所ではないなと思った。たった1年でも気づくこと学ぶことが多いので、もし、留学に少しでも興味があるなら行ったほうが良いと思う。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。